

みやざき中央新聞

〒880-0911 宮崎県宮崎市田吉6207-3 info@miya-chu.jp Tel(0985)53-2600 Fax(0985)53-5800
毎週月曜日(第5月曜日は除く)、月4回発行/1か月1,080円(税・送料込)

8月24日(月)

2015年(平成27年)
2614号

2面記事

鴨頭 嘉人さん……恐るべし！習慣の力～No. 3
堀北 祐司さん……世界一簡単！ストレスと上手に付き合う方法～No. 4
中島 依子さん……「遷延性意識障がい」を生きて～No. 2
寺岡 賢さん……弥栄の国づくり～No. 3
松田 くるみ………談話室「みやちゅうの目指すもの」

6月末、「タニサケ塾」に参加した。この塾は、「ゴキブリ駆除剤」「ゴキブリキヤップ」などの製造販売業を営む(株)タニサケ(岐阜県池田町)の創業者・松岡浩会長が主宰する人間成長のための学びの場で、今年で20年目を迎えている。

「25%という高利益率を生み出す同社の改善の秘訣を学ぶため、トイレ掃除や洗車、気功、工場見学や松岡会長による講話などを2日間にわたって体験した。

「少しでも会社をよくしたい」と熱い思いを持って全国各地から集って来た経営者たちに、松岡会長は「知恵は永遠の財産」「1日1ミリの改善が重要」と語る。

現場の社員たちから提案された改善の知恵を活用することは、作業効率の向上や経費の節約につながり、その継続は会社経営における大切な「宝の山」となる。

見学して一番感心したのは、社用車の洗車だ。長いタオルの両端を2人で持ち、ボンネットから屋根、リアガラスへと滑らせると、車に付いた水分を一気に拭き取れる。その時間、わずか3秒。その秘密は、タオル3枚を少しずつ角度を変えながら縫い合わせることで、車体につまぐ密着させる工夫だった。

本業に関する改善なら、ちよっとしたきつかけでアイデアがひらめいたりもするだろう。しかし洗車となると気が緩み、同じ作業を漫然と繰り返しがち。そんな中、こんな知恵が出てくるとは。「うちは残業禁止！だから知恵が出る」と語る松岡会長の笑顔が浮かぶ。

「仕事には『やらされる仕事』と『やる仕事』がある。『これだけの仕事をしなさい』と言われたとき、やらされてする人は与えられた以下の仕事しかしない。反対に『自分でやるぞ』と思つてやる人は、与えられた以上の仕事ができる」と松岡会長。「やらされてする人」と「やる人」では何が違うか？

たとえば「山登りをするぞ」と思つた登山家は、高い山を前にすると興奮し、やる



編集部長 西 隆 宏

改善しなきゃもつたないない！

松岡会長が常に意識し

気が湧き、嬉しくなる。しかし登山家と同じ荷物を持つて運び上げるポーターは、山が低ければ低いほど嬉しく感じる。つまり自発的に「やる人」は、さらなる高みを目指してどんどん成長していくが、「やらされてする人」は何年やっても成長していかない。

これは仕事の問題にとどまらない。「将来、医者になる」「建築家になる」など志が明確になった人はやらされる勉強から「やる勉強」へシフトチェンジし、「やらされる苦しみ」が「やる喜び」に変わっていく。人生についても同じことが言える。

2日目の早朝にトイレ掃除が行われる

が、これが研修の大きな柱の一つになっている。

「トイレ掃除が目的ではなく、そこから気付きが大事」と松岡会長。たしかに掃除の指導を受けていると、何度も会長から「これは経営と同じ」「人生にも当てはまる」という言葉が出てくる。

「今のままでいいの？」という疑問を抱きながら掃除をすることで、さまざまな仕事のヒントや気付き、知恵が生まれてくるということだ。

「トイレ掃除のときは、かならず左手を添えて」と注意を受けた。両手を使うことは、問題にしっかりと向き合い、その問題に近づくことになる。

「改善はチャンス。しっかりと向き合えば、まだまだできることが見つかる。改善無限、知恵無限」という会

長の言葉を思い出した。

てきたのが「一流をめざす」だった。いつも「よりよく」を心がけ、気付いたことを即行で改善し、「目の前の社員をいかに喜ばせるか」を常に考え楽しんできた。それが「1日1ミリの改善」につながった。

仕事をしている私たちは、「人生のゴールタイム」を捧げているようなもの。だからこそ、もっと仕事を通して成長し、喜びや楽しみや生きがいを感じ、よりよい幸せな人生を送れるように「改善を重ねなきゃもつたないない」。

「1日1ミリでいい」と考えればそんなに気を張る必要もないし、改善をより気楽に考えられるところがいいと思つた。